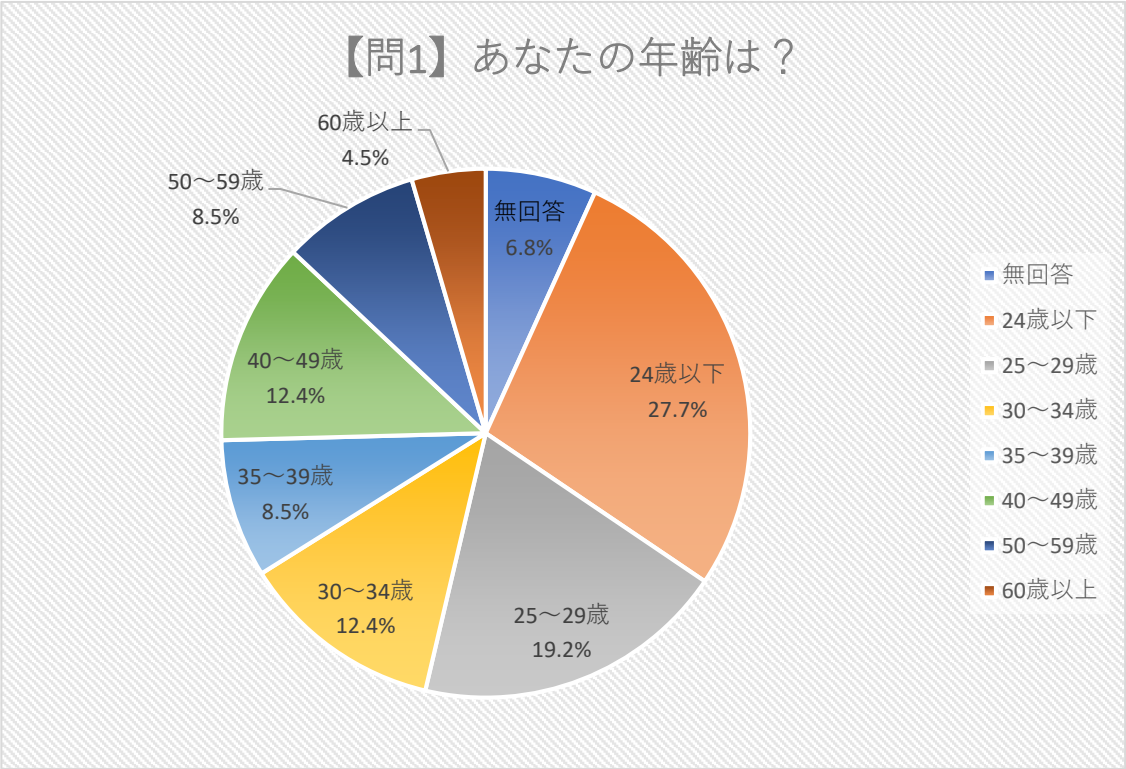
ConBio 2017 共同企画ランチョンセミナー
アンケート集計結果

問1

【問1】あなたの年齢は？

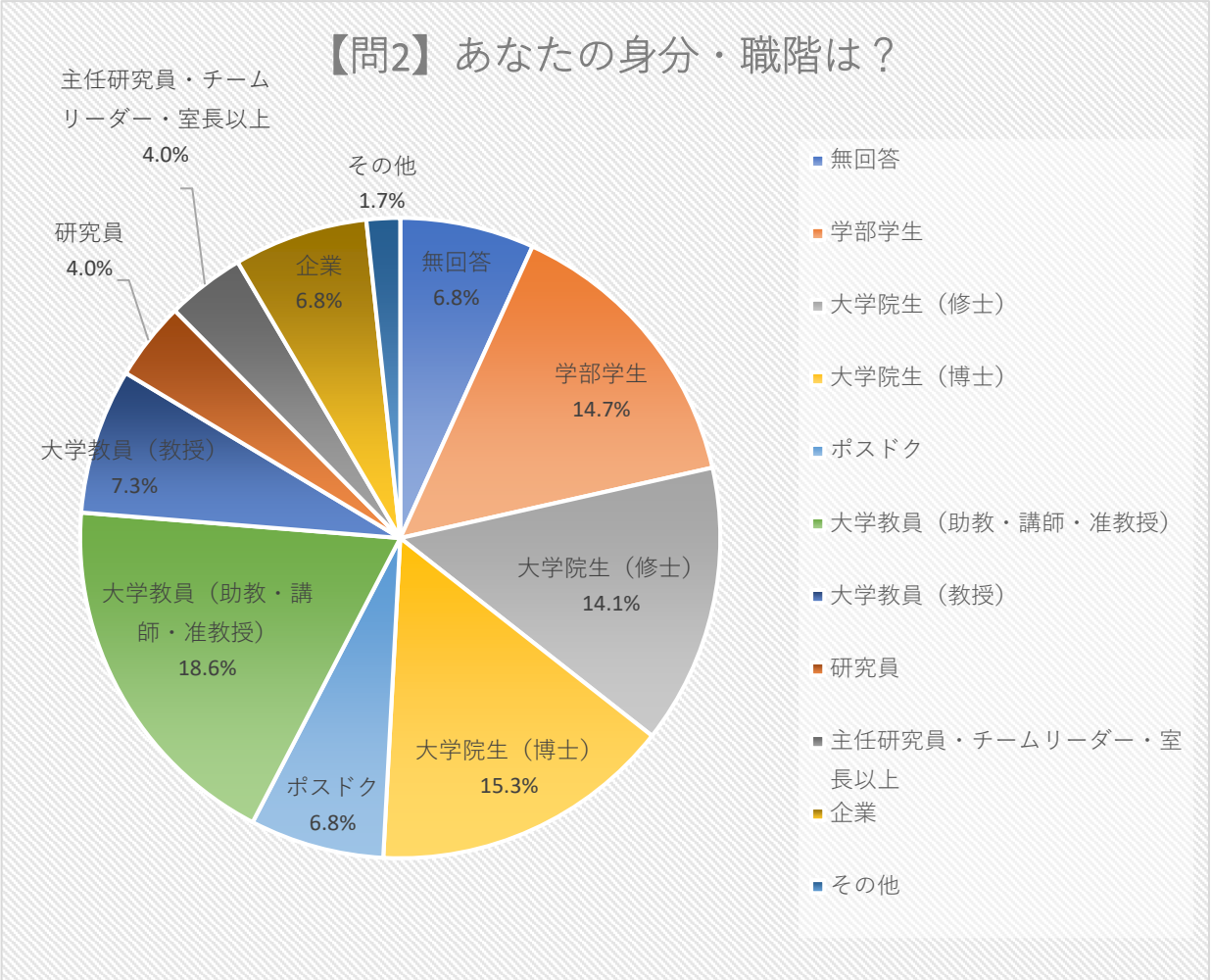
回答No.	回答	Count	Rate
0	無回答	12	6.8%
1	24歳以下	49	27.7%
2	25～29歳	34	19.2%
3	30～34歳	22	12.4%
4	35～39歳	15	8.5%
5	40～49歳	22	12.4%
6	50～59歳	15	8.5%
7	60歳以上	8	4.5%
	合計	177	100.0%



【問2】あなたの身分・職階は？

回答No.	回答	Count	Rate
0	無回答	12	6.8%
1	学部学生	26	14.7%
2	大学院生（修士）	25	14.1%
3	大学院生（博士）	27	15.3%
4	ポスドク	12	6.8%
5	大学教員（助教・講師・准教授）	33	18.6%
6	大学教員（教授）	13	7.3%
7	研究員	7	4.0%
8	主任研究員・チームリーダー・室長以上	7	4.0%
9	企業	12	6.8%
10	その他	3	1.7%
	合計	177	100.0%

※その他の回答として、医師（1名）、テクニシャン（1名）、URA（1名）の合計3名

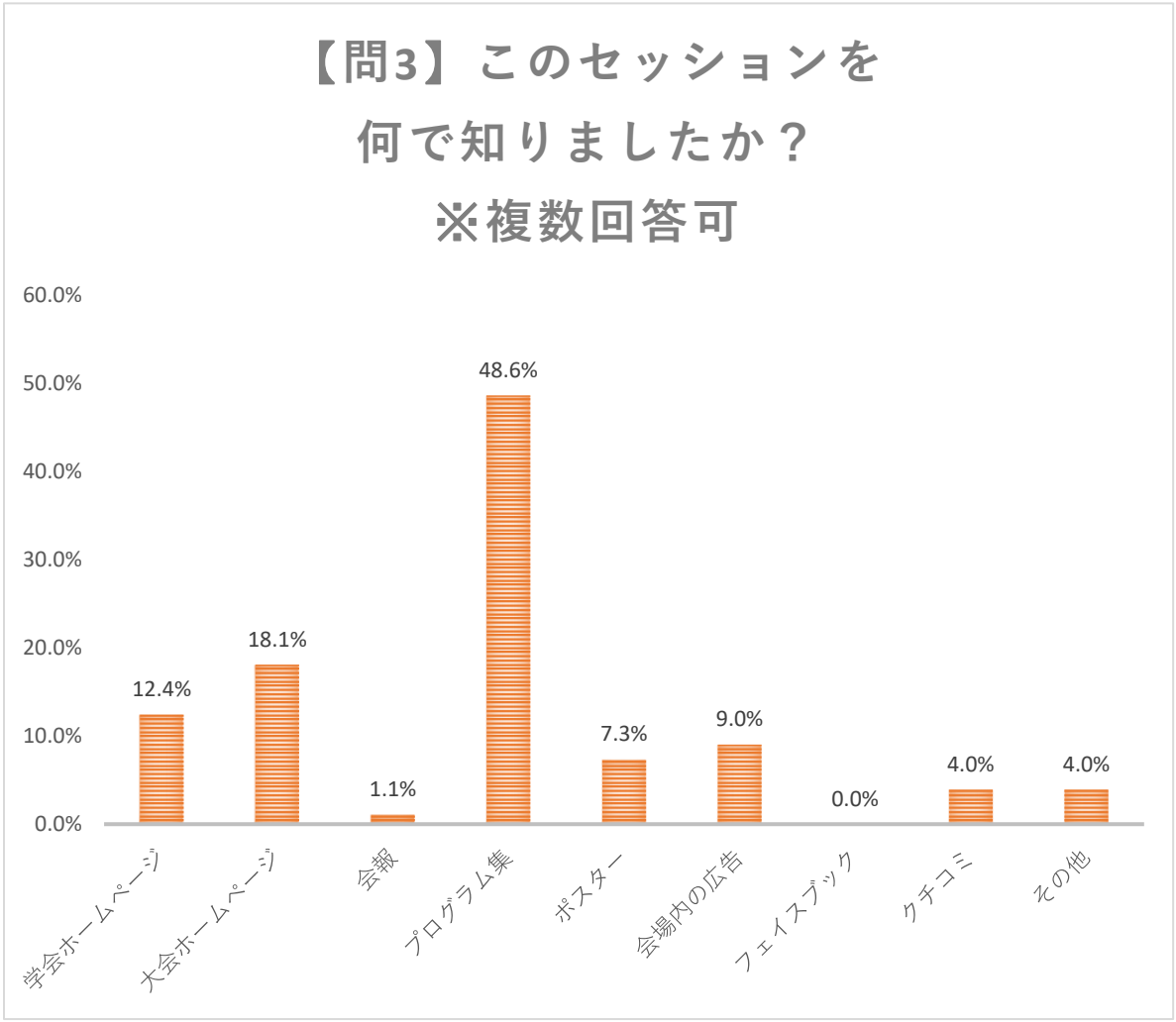


問3

【問3】このセッションを何で知りましたか？ ※複数回答可

回答No.	回答	Count	Rate
1	学会ホームページ	22	12.4%
2	大会ホームページ	32	18.1%
3	会報	2	1.1%
4	プログラム集	86	48.6%
5	ポスター	13	7.3%
6	会場内の広告	16	9.0%
7	フェイスブック	0	0.0%
8	クチコミ	7	4.0%
9	その他	7	4.0%

※その他の回答として、記載なし（2名）、ランチにつられて（1名）、先生の紹介（1名）、とおりがかり（1名）、アプリ（1名）、学会からの案内（1名）の合計7名

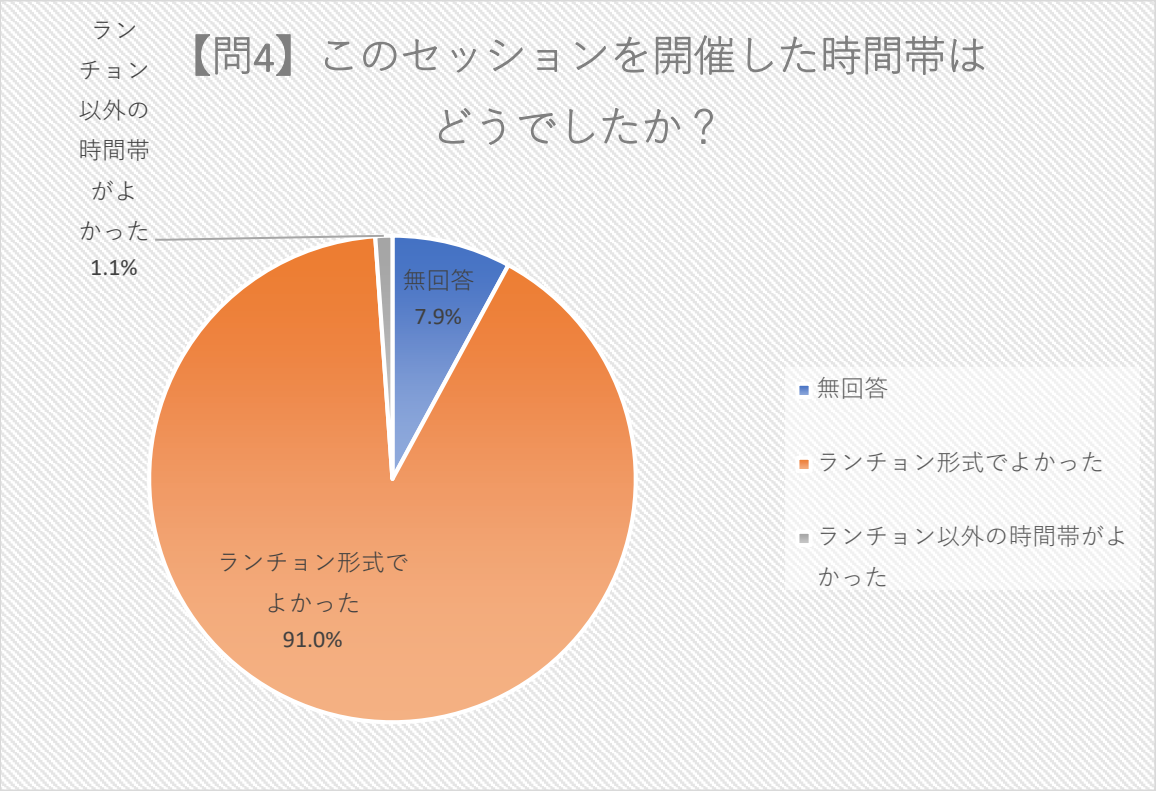


問4

【問4】このセッションを開催した時間帯はどうでしたか？

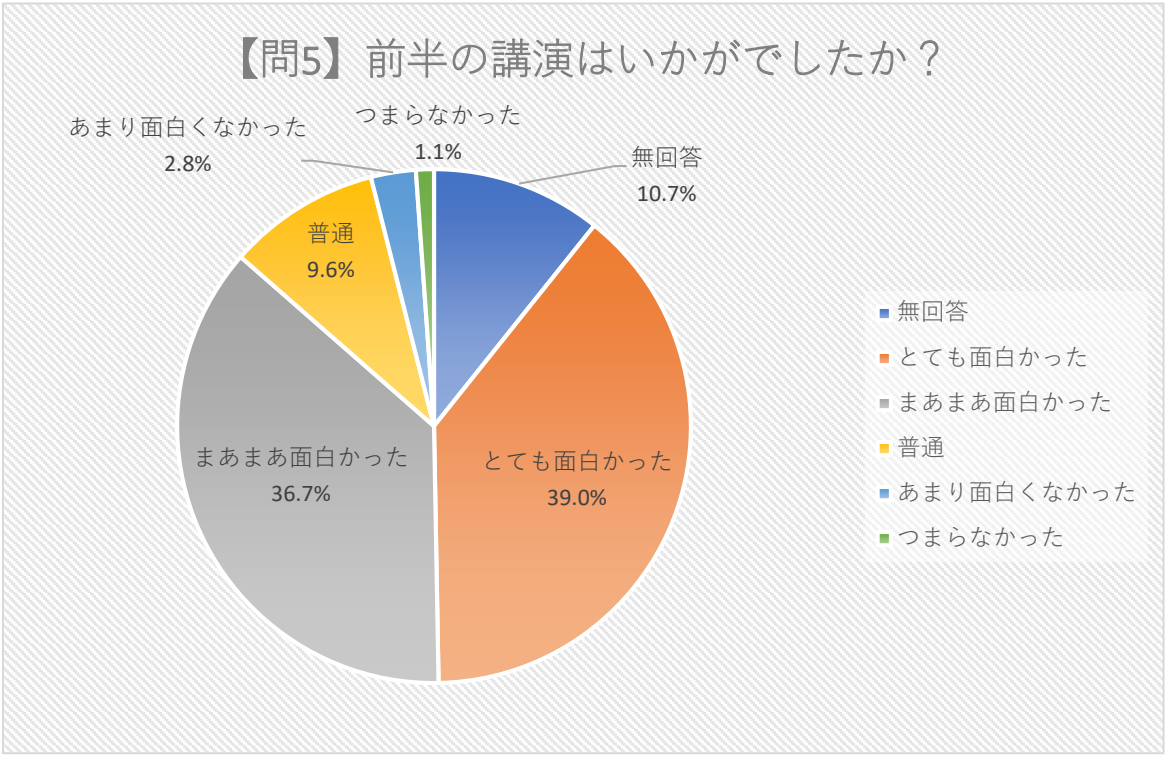
回答No.	回答	Count	Rate
0	無回答	14	7.9%
1	ランチョン形式でよかった	161	91.0%
2	ランチョン以外の時間帯がよかった	2	1.1%
	合計	177	100.0%

※「ランチョン以外の時間帯がよかった」の2名のうち、1名はカッコへの記入なし、
残りの1名は「長い時間を取るため」という記入があった。



【問5】前半の講演はいかがでしたか？

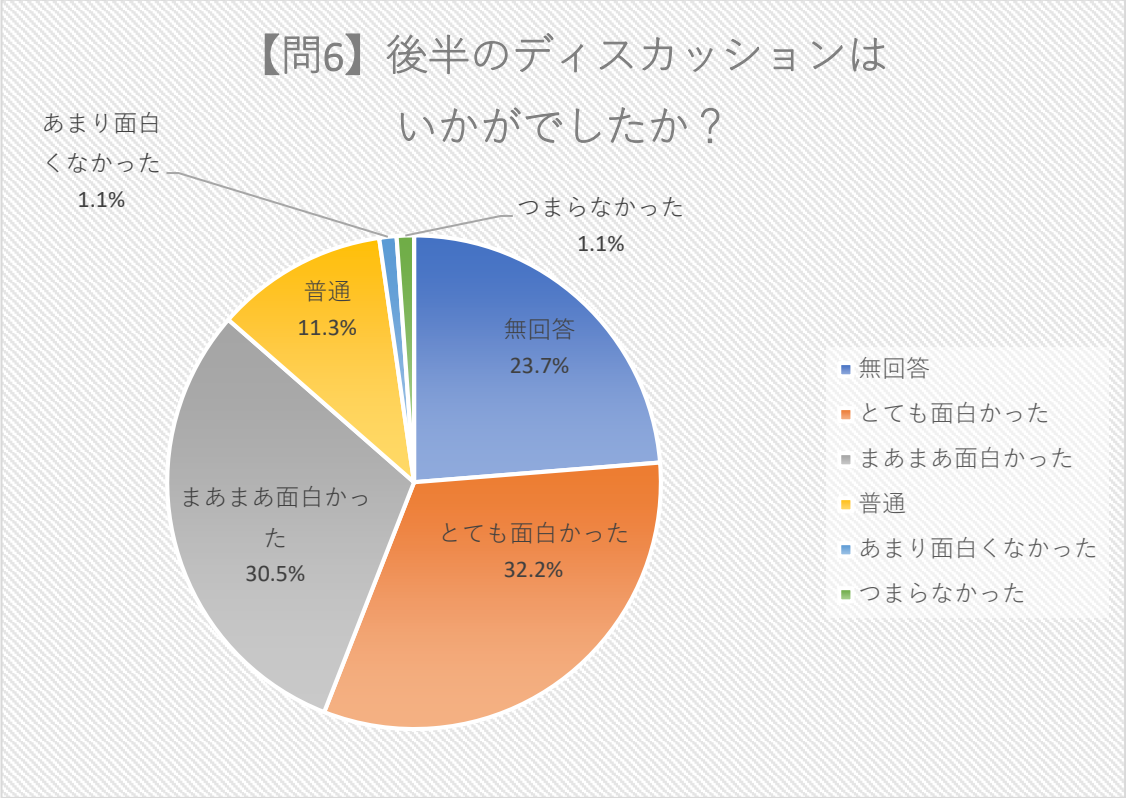
回答No.	回答	Count	Rate
0	無回答	19	10.7%
1	とても面白かった	69	39.0%
2	まあまあ面白かった	65	36.7%
3	普通	17	9.6%
4	あまり面白くなかった	5	2.8%
5	つまらなかった	2	1.1%
	合計	177	100.0%



問6

【問6】後半のディスカッションはいかがでしたか？

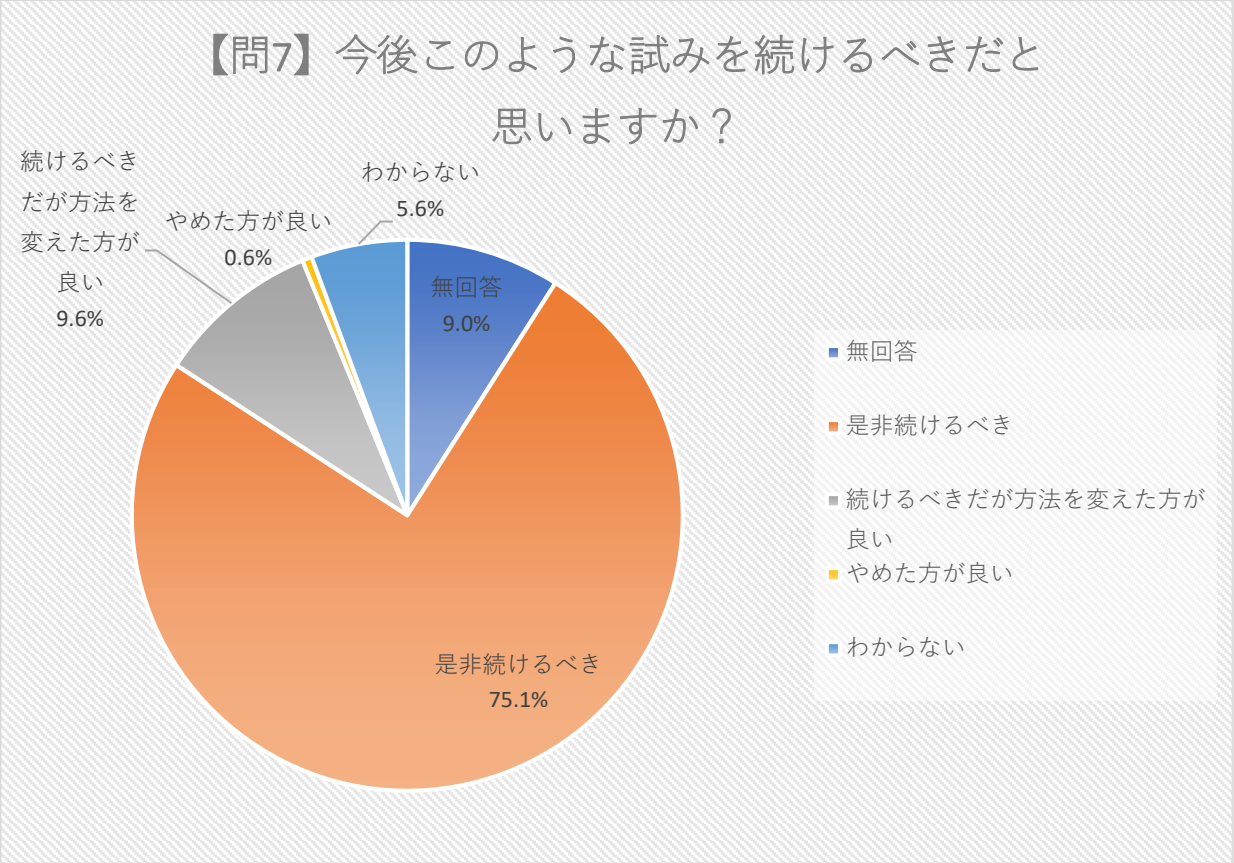
回答No.	回答	Count	Rate
0	無回答	42	23.7%
1	とても面白かった	57	32.2%
2	まあまあ面白かった	54	30.5%
3	普通	20	11.3%
4	あまり面白くなかった	2	1.1%
5	つまらなかった	2	1.1%
	合計	177	100.0%



問7

【問7】今後このような試みを続けるべきだと思いますか？

回答No.	回答	Count	Rate
0	無回答	16	9.0%
1	是非続けるべき	133	75.1%
2	続けるべきだが方法を変えた方が良い	17	9.6%
3	やめた方が良い	1	0.6%
4	わからない	10	5.6%
	合計	177	100.0%



問8

【問8】このセッションに関する感想をお聞かせください。

No.	回答
1	とても良かったです
2	リアルタイムでコメントでき、議論が活性化してよかった
3	スクリーンが小さく、後ろの方では見えません
4	Keitai Gongとか面白いと思いますが、時間が短いせいか、議論ありきという印象をもちました。
5	ケータイを敢えて持たないことにしているのでパソコンも使えると良かった。
6	参加者の生の声が聞けて面白い。皆、同じようなことで悩んでいるのだな、と。登壇者は確かに成功者ばかりだと中立性にかける。
7	匿名による意見を出せる点が良かった。
8	アンケートを取るのはいいが、アウトプットが曖昧。芸能人がパーソナリティをつとめるラジオみたいで、フロアからの意見に対する答えがいい時もあるが、あまり有用ではなかった。
9	進学は学費的にも厳しい。親とも話し合った上で決めたことなので、帰ることはできない。
10	むなしい
11	全てのコメント画面を大きく示すようにすると見やすくて良いと思った。キャリアを考える上で参考になった。
12	セッションの結果を学会としてとりまとめ、当局や一般の人も受け入れられる（研究者の利害だけでない）説明をすべき。
13	ドクターの学生は交流が少ない（授業がない）。悩みを共有しにくいのも、ドクターの苦しさを増している？今回の会は「自分だけではない」と思えて安心できた。
14	とても参考になった。これからのキャリアを考える上で。
15	非常に興味深かったです。特に、異なる立場の方の実情をコメントできけたのが良かったです。
16	リアルタイムで会場の意見が見れて、自分の意見が言えて良かった。
17	パネリストが、運がいい人が多すぎ。
18	リアルタイムで色々な人の意見が聞けて良かった。面白かった。サイトへのアクセスの仕方がよくわからなかった。
19	思った以上におもしろかったです。初めて分生に来たのですが、このようなセミナーも初めてで、分生はいい学会だと思いました。ダイバーシティを進めると、良い組織になると聞いたことがあるので、このような方向でも分生のコミュニティーがよりよく発展すればとねがっています。
20	各部で、どなたも一人の方の経験を5〜10分ぐらいで、まず具体的に話してもらうのではどうでしょう。簡単な解答がない難しい問題ばかりなので、短し浅いコメントばかりでは参加者の頭の中に残るものが少ないのではないでしょうか？別のセッションではなされた企業の方（誰も出席してなかった！？）に、もう一回でもいいから短く話してもうとか。
21	自分は博士への進学を決めていますが、迷っていたときにこのセミナーをうけたかったなと思います。同じように迷っている人の背中を押すセミナーだったと思います。
22	アンケート結果のパネルが見にくい。
23	問題が大きくて時間が足りていないように思いました。ネット化などで討論の枠を枠を広くとるべきでは

問8

24	とてもよいセッションでした。ただ、前の画面がみづらいので、後方にもスクリーンを増やすか、スマートフォンでリアルタイムにコメントを追えるシステムがあると良いかと思います。
25	ConBioアプリからも参加できるようにした方がよい。参加のページのアクセスがかかりにくい（そのURLをgoogleなどで検索してもでてこない）→ウェブページからアクセス出来るようにした方がよい。
26	参加型で答えがリアルタイムで見られるのがおもしろかった。主催者の方々もその結果をみてコメントしてくださるので、主催者の方の生の声をきくことができた気がした。
27	みんなが知りたいことをみんなで見ていける点がとてもいいと思う。ConBioならではの企画だと感じた。
28	会場の生の声が聞けるのはよかった。しかし、パネルの先生方に企業側からの人がいれば、もっと説得力のあるディスカッションになったと思う。企業からの目線を話すとき、想像にしか聞こえない。また、ドクターになることのデメリットについてもきちんと討論すべきだと思う。「確かに、こういう苦労はある。」という感じで。パネリストの意見にキラッと光るものがなかった。
29	試みは良いが、やり方を変えた方がいい。進行の行き当たりばったり感があります。画面の文字が小さい。
30	大学院以降をどうするか、少しでも指針が得られると良いかと思って参加したが、予想以上に様々な考えが得られ、大変面白かったです。
31	将来について知れて良かった。
32	コメントできる所など、とてもよかった。
33	おもしろかったが、少しまとまりがない。トピックをもう少ししぼるべき。
34	多角的かつ率直な意見が出ておもしろかった。
35	修士と博士で悩みがちがうから（進路の）分けてほしい。前半の話は（博士）進学した者にとっては不要。
36	参加型、議題がおもしろかったです。
37	とても自由な議論であったため、尚更ためになったと思います。
38	お弁当ごちそうさまでした。もっと刺激的な意見がたくさん聞きたかった。
39	進路について考えるきっかけになった。
40	博士進学を考えていましたが、さまざまなリスクや不安な点があると感じました。
41	パネリストに失敗者席を作ってほしい
42	モニターの文字が見えなかったので、サブモニターを設置していただきたかったです。
43	博士課程在学中の学費と生活費を助成し、博士号取得後の職を用意（アカデミックの無期雇用の研究員と企業への就職先）すれば博士課程進学者が増えることが予想される。
44	アンケート・スライドが見えにくい。時間をもっと長くとっていい。
45	まだ自分が学部生だからというのも話のすべてにあるかもしれないが、あまり具体的なイメージができなかった。

問8

46	毎年、良い取り組みと感じて聴講に来ているが、議論するだけで、世の中が変わらないことがもどかしく感じた。
47	色んな若い人の不安と年上の意見を聞けてよかった。
48	公募の公平・透明性において、誰も答えたがらなかった。どうしてですか？
49	毎年聴くことで、時代の動向や同世代の考えていることを広く知ることができて良い。また、企業の人もパネラーでいて、よかった。
50	大変参考になった
51	将来についてより考えさせられ、不安になった
52	企業の方、修士卒の人々の意見も受け入れるべきである。修士卒の企業の方々もパネルディスカッションに入れるべきである。
53	コメントがリアルタイムで流れるのが新鮮で良い。
54	お花畑を続けるなら、やめた方がいい
55	パネリストの方もざっくばらんにお話し頂き、よかった。
56	自分の進路について考える良いきっかけになった。
57	将来のキャリア等を考え、知るきっかけになって面白かったです。
58	博士に進学しようか迷っているので、非常に参考になりました。
59	博士課程への進学者を増やしたい前提で話を進めているが、そもそも増やすべきなのか疑問を感じる。
60	パネラーの年齢層が狭いように思う。↑↓をはかる。文科省の役人（上級）や野依先生など国への意見として直に伝えられるようにしてほしい。50代以上は任期付きはよいidea。
61	アカデミア or 企業以外の選択（支援者、URA、省庁など）があることも伝えていただきたい
62	リアルタイムかつ匿名でディスカッションに参加できる形はおもしろいと思いました。
63	時間の限られた中で、多数の聴衆もいるため、どうしても問題の表層にしか触れられていない印象があり、個人の問題解決につなげることが難しいのではないかと思います。
64	本音が思った以上に出てくるのに驚きました。iPhoneを使った試みは素晴らしいと思います。
65	研究を続ける人にしっかりしたサポートができるものになってほしい
66	interactiveは、はやり！メリットもある。
67	雇用は最も議論すべき問題だと痛感した
68	学生の時の金銭的援助も博士の学生を増やすのに大事かもしれないが、その後のキャリアの困難さを学生がどれだけ分かった上で博士の進路を考えているのか疑問
69	進学、就職について考えたことのある学生はこういう話って自発的に聞いてると思われます。ただ、収入などの生々しい話は大学で教員に聞けないので、取り上げてくれるとよりよかった。
70	パネリストが成功者ばかりにみえる。しかたないとは思うが。。。
71	会場の大勢の人がどう思っているのか意識を共有できたのは良かったが、「〜してほしい」「〜すべき」というだけで自分の中で「参考になった」と思えたものがなかった。
72	コメントが読めないのでスマホで手元で読めるようにしてほしい。パネリストの大半がPIで多様性が少ない。
73	研究者が抱える問題や現状をリアルタイムで知ることができてよかった。なんだか暗い気分になりましたが。。。
74	深い所まで議論が出来ていない。（質問に問題がある？）

【問9】来年以降のセッションで取り上げて欲しいテーマがあればお教えください。

No.	回答
1	企業での研究
2	実際に企業の人事担当者を呼び、博士号取得者に何を期待しているのか話してもらう
3	人数が多い40代に関して、アカデミア、政府はどう考えているのか（任期付が多い、キャリア形成には遅すぎて、etc.）学会でもそろそろ真剣に考え始めてほしいです。このままだと、豊富な経験を持った人材がごっそり抜けることになります。
4	若手 vs シニアのパネルディスカッション
5	研究留学
6	企業の人が持つ「Ph. D. 取得者像」とは？一般（世間）の人が持つ 「Ph. D. 取得者像」とは？27歳まで学生をやることに対して驚かれる。つらい。
7	・女性研究者のワークライフバランス ・ラボ内の人間関係、ラボの実態（博士課程学生の人数など）
8	キャリア・進路について
9	企業経営者の人から見て、Ph.D.をもっている人を雇うことに、どのようなPro/Conがあると考えているか。Ph.D.をとった人が企業に行ってPh.D.は有利と言っても、全員にとってはそうは限らない。
10	女性のキャリアについて。結婚（年齢、出会いの時期）、出産、育児の観点で、企業とアカデミアを比べたときの違い。
11	研究者のキャリアパス、アカデミア編
12	同じく、キャリアについて今回は成功した方ばかりであるが、逆に他の道に行った方の話など
13	「30年先の研究者像」。例えば、自分の子供が研究者になったとしたら、どんな働き方をしいてほしいか。
14	海外での状況はどうなのか。海外の学生も同じような状況を抱えているのか、就職のシステムの違い、ラボの違いなど知りたい。
15	研究費配分のあり方、人事のあり方
16	女性としてのライフイベントの対処法
17	外部の研究室に行くメリット・デメリット
18	日本と海外の博士の地位について比較
19	ライフイベントとキャリア 究極の選択をせまられた時に？（どうするか、どう判断するか興味あり）
20	博士の種類（工学、理学など）の違いによる就職の違いなども知れたらおもしろいと思いました。
21	アカデミア or 企業以外の選択（支援者、URA、省庁など）があることも伝えていただきたい

問9

22	研究業界は社会の中でどのような立場を占めるのか。もし社会の中で有用な立場にあるのなら、もっと予算が投入されるのではないか。業界外の人が研究業界をどう位置づけているのか聞いてみたい。
23	今年は、現状の把握が実際の試みだったと思います。来年以降はどうやって問題を解消するかにフォーカスして頂けるとうれしいです。
24	研究者としてのワークバランスを考えること
25	産官学連携の在り方
26	ベンチャービジネスが雇用先にならないか
27	ポスドク、任期教員のキャリアについて。任期なしポストの獲得について
28	大学研究者だけでなく、もっと企業の人やポスドクなども加えて、人生における選択肢の中で何故それを選んだのかを聞きたいです。
29	研究者のワークライフバランス
30	女性のキャリアパスは男性よりも厳しいのでしょうか？明るい話も聞きたい。
31	具体的な博士課程進学におけるメリット

【問10】本大会での属性調査（添付資料）をご覧になった感想をお聞かせください。

No.	回答
1	女性発表者も結構多い印象だったが、数字的には低くて意外だった
2	今の日本の社会を写していると思う。社会が変わらなければ学会も変わらないのではないか。
3	若手女性、もっと頑張らないといけないですね。。。
4	博士号取得者のポスト（職）が一番の問題。アメリカみたく、学位を取った人ほど優遇されなければならない。
5	分析が表層的。
6	色々な人の本音が共有できて良かった。研究に関わる人達が考えることは似ているのだなと実感した。
7	「ドクターに行くと、結婚がおくれる」という女の人はたくさんいる。ドクターに行っても結婚・出産できる！と思えれば、アカデミア（博士課程）に行く女の人がふえるのでは？
8	周りの人がどんなことを考えているのかいるのかわかって良かった。
9	使用するグラフが適切でない。比較している項目がわかりづらい。
10	グラフの作り方がイマイチです。必要なことが伝わりません。
11	発表関係者全体での男女比が全会員の男女比と同様ということはいいことだと思った。でも、もとの比率が低い以上、オーガナイザーやスピーカーの比率を上げるのは簡単なことではないと感じた。女性“だから”いれる、というのもちがうと思うし…。（私は女性です。）それでも努力はつづけていかなければならないと思った。
12	興味深かった。自分自身の無意識下にあるバイアスについて考えるきっかけになった。
13	良い
14	特になし
15	素晴らしい。学会全体でリアルタイムに統計出してくれるのはいいこと。他の学会は終了後に出してくる。
16	機会の平等は守られるべきだと思いました。
17	非常によい資料である。
18	大変参考になりました
19	オーガナイザー、シンポジウム登壇者で女性の比率が少ない。教授の数も少ない。パネリストは大学教員ばかりだが、キャリアパスの多様性を目指すシンポでは？
20	折れ線グラフは適切でない。棒グラフにすべき。
21	キャリア形成には年数がかかる。特にアカデミアはその期間がながいように思う。女性の活躍を推進し始め、その結果が出るまでのタイムラグがあることを忘れられているように感じることもしばしば。

問10

22	Hard workingがあたりまえの業界なので、このような結果になるのでは。男女共同企画は女性にゲタをはかせるのではなく、男性も育児、家事に参加できるようにすることも推進した方がいい。PIクラスの男性の多くは時間のほとんどを研究に費やしているのでは？
23	女性がもっと自由に活躍できる社会になってほしい。

【問11】その他。ご自由にどうぞ。

No.	回答
1	新しい試みで大変面白かった
2	学生・院生をパネリストにしても良いのでは。
3	PDから企業に進みました
4	もう少し、画面を大きい会場を使ってほしいです。
5	ぜひ、ここでの意見を政府に伝えてください！！1部に学生中心、2部に若手研究者のライフイベントについて、構成が良かった。
6	後列からでは表示スライドの字が小さく見えにくく思う。全体の真ん中、後方にもプロジェクターの配置があると、さらに活発な議論が行われると考える。
7	キャリアパスのテーマでは大学院生や若手を対象にしたものが多いが、今回のアンケート結果にもあったように、必ずしもキャリアを考えるのは若手のみではないため、より広い年代を対象とするテーマも設定して頂きたいです。
8	研究者は一部の成功者を除いて、皆、不安。本当にこの環境を変えていかなければならないので、セミナーを聞くのはいいが、本気で政府に訴えかけてほしい。真面目に訴えて、絶対に変えてほしい。切実です。生ぬるい覚悟ではダメです。こういう時代、己のみを信じて頑張れという答えは、このセミナーを開く意味そのものを否定していると思います。「今の日本の科学者の現状を変えたい」という意気込みが感じられない。
9	スライドが見えにくかった。
10	問題に取り組んでますよ、という実績作りのセッション。本気で問題解決に取り組むつもりがないのなら、こんなむなしいセッションはやめた方がよい。勝ち組の自己満足セッション。象牙の塔。負け組の話を聞け。
11	国家予算を研究にもっとふるための、研究者自身の努力はどのくらいされいるのか？もっと、発信を皆でしたほうが良いのでは。
12	おもしろいきかくだなと思いました。来てよかったです。
13	セミナー全体を通じて、海外に目を向けてキャリアを考える人が少ないのだと感じた。
14	今後、このような機械がありましたら、是非参加したいと思います。
15	学生のパネルディスカッションする人を入れてほしい。
16	コメントを見ることができるようにしてほしい
17	暗い未来に向き合う企画は大変。
18	すごく参考になりました。
19	前の見えてる人をパネリストにしても面白くない。見えないもの同士で意見をたたかわせるべき。
20	現在、大学助教ですが、公務員（研究者）などにも年齢制限でアプライできないので、国は解決すべき。国の政策で博士増えたはずなのに職がないのはおかしい。
21	パネリストが後ろからほとんど見えない。
22	大学では教育＋研究に加えて、事務員がするべき仕事を教員に回しており、そのため、教員のActivityが下がる。この件についても考えて欲しい。

問11

23	質問が「どちらともとれる」聞き方のものが多かったです。例えば、アカデミア研究員と企業研究員は少なくとも分けて書いて頂きたかったです。また、コメントスライドが細かすぎて、後ろの方から読めませんでした。スピーカーの方々はコメントを視覚的に見えている前提ではしょった話し方をされる方が多かったですが、正直、何をおっしゃっているのかわからない場合が多々あったと思います。
24	お弁当にひかれて参加しましたが、大変有用なお話しでした。ありがとうございました。
25	議論が深まっていなかった。博士が就職に有利って本当？
26	今回明らかになった問題点を学会として声明を出す、政府に働きかける等してほしい。
27	参加できるタイプで面白かった。
28	アンケートの設問で、誘導されているように感じるものがありました。（学費補助は明示されるべきか、など。）リアルタイムで様々な意見がわかり、新鮮でした。